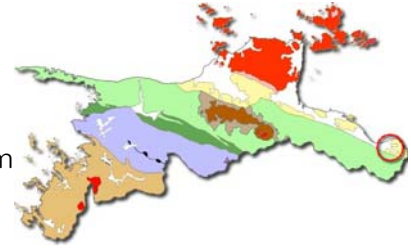


四国中央市金生町下分

和泉層群の砂岩泥岩互層

四国中央市立金生第一小学校の東400m
川之江高校の南東1200m

キーワード 砂岩泥岩互層、堆積構造



露頭全景

砂岩泥岩互層を観察することができる。この露頭の砂岩泥岩互層は、砂岩層と泥岩層がほぼ同じ厚さである。砂岩層では、級化層理を観察できる層もある。砂岩層の底を見ると、上の写真のように、平ではなく断面が半円形の堆積構造を観察することができる。これは、ソールマーク(底痕)の一つで、カレントマーク(流痕)と呼ばれる。この堆積構造の長軸の方向から、この砂岩層が堆積したときの流れの方向を推定することができる。また、右の写真のように層が乱れた堆積構造を観察することができる。これは、スランブ構造と呼ばれ、海底地滑りによってできたと考えられる。



〔地層について〕

この露頭の地層は、和泉層群の一部で白亜紀に堆積した。砂岩泥岩互層は、砂岩の層と泥岩の層が一つのセットで形成される。地震のような震動で一度海底にたまっていた堆積物が、タービダイト(混濁流)となって再堆積するとき、分級作用によって粒径の大きな砂が先に堆積し、その後泥が堆積することで砂岩泥岩互層が形成される。



2万5000分の1 地形図「川之江」を使用した

